

# 啓伸塾 便り

7月(文月)  
July

基礎学力を重視する学習塾  
**啓伸塾**  
ただ今、新入塾生募集中

## できる子とそうでない子の違い 自学力の育て方 名門公立高校受験道場・著 より

現代は、未知なるウイルス、グローバル化、多極化、多様性の高まり、人工知能の発展などで、社会が激変し混乱を極めつつある時代です。その結果、急速に知識も陳腐化し、また、人生100年時代といわれ、長い人生を生き延びるには、定期的に学び直しが必要になりました。

久しく言われ続けてきた「名門校へ、難関大学へ、そして大企業へ就職しなければ、安定した人生が」的な地図が消滅しつつあります。「新しい地図」が必要です。それは、誰にもわかりません。それを見つけ、どんな「羅針盤」を持ち、この先の人生を、生きて行ったらよいのでしょうか？それを見つける力となるのが「**自学力**」です。

これからの時代、プログラミング教育や英会話も大切です。このような時代に合わせた科目の学習をする際、「**自学力**」は本質的な力、根っこになる力となります。時代が変わっても、今後、ますます重要になってくる力と言えます。この「自学力」は5月号の「独学力」にも通じるものがあります。

### 「自学力」とは何か！

#### ①自分で課題を見つけることができる力

つまり、自分には何ができて何ができないのかを客観的に見定めることができる力です。自分を客観的に見ることは、成績の上位の子は得意です。上位の子ほど良い意味でネガティブです。「自分はこの問題を本当に理解したか？わかった気になっているだけではないのか！」と自分に問いかけます。だから、より正確に弱点を見つけることができます。逆に、学力下位の子は悪い意味でポジティブです。きちんと理解していないのに、「この問題はもうできるでしょ！」となってしまう、復習もしません。このように、自学の最初の段階から差がついてしまうのです。天才と言われる人たちは、頭がいいだけ、運動神経がいいだけではあません。努力をしているのです。その典型的な例が、大リーガーの「大谷翔平」です。天才といわれる人たちはみな努力しています。

#### ②課題克服のための手段を複数持つことのできる力

わからないことをそのままにすることは、学力向上にはあってはならないことです。わからなければ、人に聞く。これがわからないことをそのままにしない一番の方法ですが、「わからなければ聞けばよい」というのでは思考停止状態になってしまい、最悪の場合、「考えることが面倒だから質問する」という状態になってしまいます。考えることができない子になってしまいます。このようになってしまわないように、まずは自分で調べることに抵抗感をなくすることが大事です。ネット検索の手段の用意はもちろんですが、辞書を身近に置くことはもちろん、世界地図・日本地図なども目のつくところに貼っておいてください。地図はテレビのすぐ横に貼っておくと効果的です。

#### ③自分であれこれ考えることができる力

わからないから調べる、誰かに聞く、その結果、なんとなくわかった。そして、そのわからなかった課題に再度向かってみる。そして、考える、あれこれ考える。解答にたどり着くまでジタバタしてみる。できる子のテスト用紙には、びっしりと書いたあと(ジタバタしたあと)が残っています。漢字が答えなら思いつく漢字を何個も書いて見る。計算なら、暗算しないで、書くことを面倒がらず、びっしりと書いたあとがあります。その結果、正解にたどり着かないこともあるでしょうが、あれこれ考えることが大切です。一流選手はみないいます、「限界とは越えるものだ」と。限界に挑戦し、それを乗り越えることで、人は成長するのです。

### 中3生のみなさんへ

中3生のみなさんは、夏休みに、受験に向け夏期講習を実施します。

この夏期講習で1、2年の基本事項を復習し、9月からの入試実践問題演習につなげていきたいと思ひます。高校受験が成功するかどうかは、この夏にかかっています。がんばりましょう。

### 中1・2年生のみなさんへ

中1、2年生のみなさんは、夏休み期間中は、前期末テストの勉強に集中します。**目標は、自己ベストです。自分の限界を越えよう！** 午前中は、教室を開ける予定です。(別紙にて後日連絡します。)

#### 今月の予定

7月17日(月)海の日は塾の授業を行います。

塾の夏期休暇8月10日(木)~16日(水)です。ご予定下さい。

中3生の夏期講習は7月22日(土)から始まります。

夏期講習は上記の休みの日も行います。

## 「答え合わせ」のやり方が 成績アップにつながる大切な学習法！ この先の成績の伸びを大きく左右する！

各中学校とも定期テストが六月に行われました。ここで、もう一度、正しい勉強法についてお伝えします。

**問題演習をしてからの答え合わせの方法が、成績の伸びを大きく左右します。**「うちの子、勉強はしているみたいだけど、成績が期待するよう伸びない」「問題をやってもいつも同じ所で間違っている」「こんな原因の一つは「答え合わせ」のやり方が間違っている」といいます。問題をやり終えた後の答え合わせの方法は次のとおりです。

ア 「答え合わせ」をして、解説も読む  
イ 「答え合わせ」をして、間違えたところは別の日にもう一度やり直す  
ウ 「答え合わせ」だけする  
エ 「答え合わせ」はしない  
オ 自分以外の別の人に「答え合わせ」をしてもいい  
カ 答え合わせが、いい加減(不正解でも〇を付ける)  
キ 「カ」の子は意外と多い

**成績上位の子は、ア(もしくはイ)の方法を必ず実行しています。**成績中位の子は、ウ(カ)の方法をとることが多いです。下位の子は答えを写すだけです。

問題をやり終え、自分で〇×を付けた後、解説を読んで「なぜ間違えたか」を見直す習慣がついているかどうか、成績アップの力を握っているといえます。

また、答え合わせをしても〇をつけるだけの答え合わせは、実は

「証明問題」など正解までの「過程」を問われることが多い中学での学習では、解説までしっかりと読むことができます。重要なことになってきます。ここでも読むことに耐性のある、読書の習慣のある子は、強いといえることができます。

塾の小テストでも、いつも同じ間違いをする子がいます。こんな子は、間違えたら間違えた箇所を見せず、全て消してしまっから、やり直します。こんな子は、トップの成績を取る子と同じくらい努力しているにもかかわらず、成績は普通、或いは、それ以下です。実にもったいないです。よって、**自分の間違いを見直す勇気を持つていただろう。**これが正しい勉強法です。

**「答え合わせ」の方法で学力が大きく変わります。**

保護者の方もこの事を理解していただき、時々、お子様の学校・塾の問題集をご覧になっていただき、ご家庭での指導をしてください。お願いいたします。